

エビデンスを授業で活用する際の課題

さあ、エビデンスに基づいた授業をやろう！



- ・自分の実践が子どもたちのためになっているのか知りたい。
- ・よりよい実践をしたい。
- ・効果のある実践をしたい。
- ・エビデンスってなんかかっこいい！

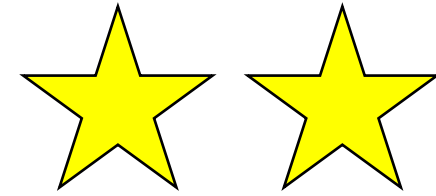
でも . . .

# 5つの課題



# 実践上の課題①

## エビデンスを探ること



**難易度**

- ○○について知りたいけど、どこにその情報があるの？お勧めの本や論文は？
- 同僚の話は参考になるけど、エビデンス？
- せいぜい一つの書籍や研究論文を探して、読むのがやっと。

エビデンスに基づく授業は、最良の情報を参考にする。

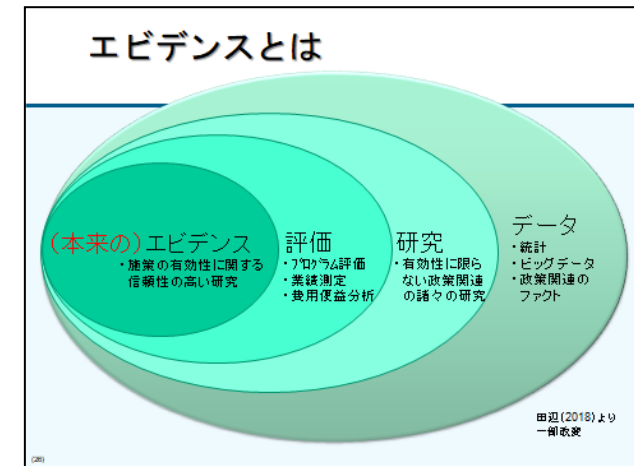
# 実践上の課題②

エビデンスを見極めること



**難易度**

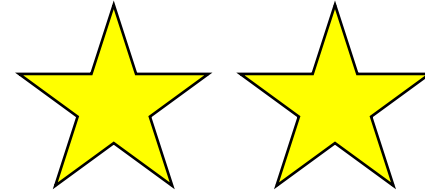
- やっと手に入れたその情報は確かか？
- 情報の渦に飲み込まれる。
- 因果関係？相関関係？
- 疑似相関となっていないか？
- 言い過ぎじゃないか？



エビデンスに基づく授業は、思慮深く情報を見極める。

# 実践上の課題③

## 実態に適応させること



**難易度**

- 目の前にいる子どもたち（実態）にあっている？
- 今自分の勤務している学校でできるか？

例：ICT機器の教育効果はある。

しかし、今の学校にそのようなICT環境はない。

エビデンスに基づく授業は、実態を十分に踏まえる。

# 実践上の課題④

## 効果検証



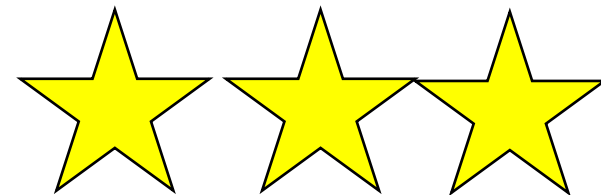
- 利用可能なデータで比較する。
- 全国学力学習状況調査・都道府県学力テストなど
- ワークシート
- 授業分析（協調的授業分析法）

エビデンスに基づく授業は、学びの事実を捉える。



## 実践上の課題⑤

プロセスと価値を見直すこと

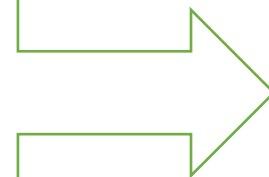


### 難易度

- テストの点数は伸びた。でも、子どもは勉強しなくなった。それでよいのか。
- 親「学力なんてつけてくれるな」という思いにどう答えるか？
- 何のために私は教育するのか？

どんな社会を目指し、どんな人を育てたいのか？

エビデンスに基づく授業は、価値とプロセスを見直す。

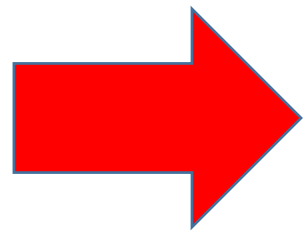


# 課題のまとめ

課題	内容	難易度
①	エビデンスを探すこと	☆☆
②	エビデンスを見極めること	☆☆☆
③	実態に適応させること	☆☆
④	効果検証	☆
⑤	プロセスと価値を見直すこと	☆☆☆

エビデンスに基づく授業は、これらを「5ステップ」で取り組んでいく。

じゃあ、どうすれば・・・！？



研究会HP「限定ページ」にて、  
お役立ちツールを多数ご紹介！